

第8章 就職指導と進路状況

1. 就職指導
2. 公務員試験対策講座
3. 資格取得対策講座とTOEIC・
工業英検の学内団体受験制度
4. 業界徹底研究会・学内企業説明会



第8章 就職指導と進路状況

1. 就職指導

【現状の説明】

本学就職部では、就職も教育の一環として捉え、「公務員に強い」、「専攻を生かした就職に強い」、そして「外国語に強い」をスローガンとして掲げ、それを実現するために各学科主任並びに各学科の就職担当教員、就職部員が学生一人ひとりの進路が決定するまで誠心誠意指導に当たっている。

全学的な就職指導方針は副学長を委員長とした「就職委員会」にて決定され、具体的な就職課題は各学科主任と就職部員からなる「就職連絡会」でその解決に向けて検討されている。

就職ガイダンスは3年次の7月より種々企画、実施している。平成11年度の就職指導スケジュールおよび平成10年度の就職状況は別紙のとおりである。

【点検・評価】

就職内定についての進捗状況や各時点における課題は、就職連絡会において適宜情報交換され、検討が加えられ問題解決に一定の効果が上がっている。しかし、職業に対する学生の意識の変化と就職戦線の早期化と長期化により就職課窓口における学生との個別面談に要する時間が以前よりかなり長くなっている。このような状況から教員による日頃からの職業意識醸成がますます重要と考えられる。

本学の就職内定率は、平成10年度は98.7%（3月31日付）、平成11年度は3月31日の時点で94.2%であり、昨今の雇用情勢からみてほぼ満足できる数字になっている。

また、就職ガイダンスは平成11年度からおよそ3カ月繰り上げて7月上旬にスタートした。複雑かつ多様化する産業界に就職していく学生にとって、就職準備期間が長いに越したことはなく、早めに取りかかったことによる効果が期待される。

【将来の改善・改革に向けた方策】

就職協定の廃止によって就職戦線が早期化した。また、個別化、オープン化や即戦力としての職種別・部門別採用の増加など採用活動の新しい流れが定着しつつある。一方、学生の職業意識の変化、特にフリーターに対する意識などは今後の就職指導における大きな課題と言える。

これらの変化に対応するために、

- ①職業意識を醸成するための就職講座を数多く開講する。
- ②1年次から職業適性検査を実施する。
- ③ますます難易度を増す公務員試験に対応するため公務員試験対策講座を充実する。
- ④資格取得対策講座や就職試験対策講座などエクステンション機能を一層充実する。
- ⑤インターンシップ制度への側面的援助や、その前段階として企業見学会を導入する。

など、大学4年間で1クールとして捉えた、「入学時からの一貫した就職指導システム」が必要と考えられる。そして、今後はさらに就職連絡会の開催頻度を増やし、就職担当教員との連携を一層深めて

いくべきである。

また、就職指導を担当する教職員は、就職指導のための技術をより一層向上させる必要がある。

2. 公務員試験対策講座

【現状の説明】

就職部では公務員希望者に対して次の通り公務員試験対策講座を実施している。

時 期：平成11年8月～平成12年6月

内 容：行政職コース（1コマ 90分 全80コマ）

国家公務員Ⅱ種や県庁、市役所等の地方公務員の行政職を目指す学生と警察官、消防官を目指す学生向けに教養試験対策として一般教養（人文・自然・社会）、数的処理を、専門試験対策として憲法、民法、行政法、行政学などを開講。

技術職コース（1コマ 90分 全58コマ）

国家公務員や県庁、市役所等の地方公務員の技術職や警察官、消防官を目指す工学部の学生向けに教養試験対策として一般教養（人文・自然・社会）、数的処理を、また技術職での各試験区分において共通で出題される数学と物理を専門試験対策として実施。

講 師：学外の専門機関に委託。

費 用：受講者負担

受講者数：行政職コース 139名 技術者コース 125名

【点検・評価】

本学には公務員を志望する学生が多数在学しているが、学部の性格からみて特に行政職を目指す学生たちにとって公務員試験はかなりの難関になっている。「公務員に強い中部大」を目指して就職部では平成4年から公務員試験対策講座を実施してきた。当初は民間企業の旺盛な採用意欲により、公務員志望者も多くなり講座の効果も大いに実感できた。しかし、昨今は公務員希望者の著しい増加と各公務員の採用数減により講座の効果が出にくくなっている。

また、受講状況については、時間の経過とともに出席状況が悪くなる傾向も見られる。これは取り敢えず受講しておこうという安易な考えで申し込む学生が原因と考えられる。

【将来の改善・改革に向けた方策】

当講座の企画運営については、主に三年生から講座を受講するという方針で実施しているが、現在の公務員試験の状況から、入学時からの「なぜ自分は公務員になりたいのか」という自己分析や受験に向けての学習への動機付けが必要不可欠である。一方、一つの講座で国家公務員Ⅱ種から、市役所、警察官、消防官までのあらゆる公務員試験対策を包括的に実施していることは見直すべきと考えられる。

今後は他の講座や就職ガイダンスなどと合わせて、当講座を「いつ」、「どのように」実施すれば良い効果が得られるか十分検討すべきであろう。

また、「是非とも公務員になりたい」、と受講生が学習を続けられるように十分な情熱をもって指導に当たる講師を確保することと各省庁、県庁、市役所などで活躍する卒業生にご協力いただく機会を設けることが、より多くの合格者を出すためには大変重要であろう。

3. 資格取得対策講座とTOEIC・工業英検の学内団体受験制度

【現状の説明】

就職部では、国家資格あるいは各種団体が認定する資格試験対策として下記の通り資格取得対策講座の開講と団体受験受付（受験料一部大学負担）を実施している。

①第二種情報処理技術者	—————	時期：11月～翌年4月	受講者数：151名
②初級システムアドミニストレータ	——	時期：6月～10月	受講者数：173名
③国内、一般旅行業務取扱主任者	——	時期：6月～10月	受講者数：67名
④通関士	—————	時期：6月～10月	受講者数：44名
⑤簿記三級	—————	時期：5月～6月	受講者数：29名
⑥販売士三級	—————	時期：5月～7月	受講者数：16名

いずれの講座についても講師は学外の専門機関に委託し、費用は受講者が負担している。

また、外国語教室と連携し「TOEIC」、「工業英検」学内団体受験を実施している。

①TOEIC	—————	時期：6月と12月	総受験者数：359名
②工業英検	—————	時期：1月、5月、11月	
			総受験者数：四級67名 三級78名 二級7名

いずれも費用は大学にて一部負担している。（時期については平成11年度となる）

【点検・評価】

就職部では学生に目標を持たせ、充実した学生生活を送ってもらうため、また各種資格を取得することによって「各学部の専攻を生かした就職に強い中部大」に繋げていくために各種資格取得講座とTOEIC・工業英検の学内団体受験を実施してきた。

各種資格取得講座は、平成8年度から実施しており、年々受講者が増加し、学生の間で定着してきたようである。今後は、現在開講している講座の他に学生あるいは企業からニーズが高く学内で開講する意義の高い資格についても検討する必要があるだろう。

また、講座の成果としての合格率についても各試験機関から大学に報告がある一部のものを除き、合格者自身からの申告がない限り把握できないという点は、講座の有効性を確認するためにも改善すべきと思われる。

TOEICと工業英検の学内団体受験制度については、後援会より多大な援助を頂いている。

今後はこの制度を学生にもっとPRし、受験者を増やし「外国語に強い中部大」の実現に貢献して行くべきと考える。

【将来の改善・改革に向けた方策】

今後とも学生のニーズに応じていくためには、各種資格試験対策講座の充実は必要不可欠と考えられる。例えば、学生に人気があり産業界から評価の高い資格取得講座の開講や、受講者の利便性を考え夏期休暇や春期休暇中に開講する講座については名古屋キャンパスを活用することも考えられる。

前述した「入学時からの一貫した就職指導システム」の柱とするべく、受講生や企業へのアンケート実施等により「資格」についての十分な調査研究を行う必要がある。

4. 業界徹底研究会・学内企業説明会

【現状の説明】

就職部では学生に業界や企業について、その動向や事業内容、仕事内容を理解させるために学内の施設を利用して、下記の通り業界徹底研究会・学内企業説明会を開催している。

○業界徹底研究会

開催時期 平成10年12月

内 容 製造業、商社、金融業、流通業、サービス業など主な業界から15社程度の採用担当者にご参加頂き、各業界の動向についての説明の後、各ブースに分かれて学生の質問にお答えいただく。

参加者数 500名程度

○学内企業説明会（幸友会主催、後援会共催）

開催時期 平成11年3月～6月の間に5回実施

内 容 幸友会々員企業と他に学生からの問い合わせの多い企業或いは本学卒業生を多く採用している企業の採用担当者に延べ200社程度ご参加頂き、事業内容や仕事内容と採用計画や試験日程等についてご説明いただく。

参加者数 延べ1,850名程度

【点検・評価】

この業界徹底研究会と学内企業説明会は、学生の進路（就職先）選択に対し、それぞれ開催の趣旨に見合った一定の成果を上げていると思われる。しかしながら、一層早期化する企業の採用活動に対応した就職に対する意識付けが間に合わず、これらに参加しない学生がいる。

また、開催する側にもそのPR方法や開催時期の設定が的確でない等の反省点も多々あると思われる。

【将来の改善・改革に向けた方策】

採用の早期化への対応や低学年からの職業意識向上に役立たせるため、開催時期、行事の内容と目的、対象とすべき学年等について就職委員会・連絡会で十分検討する必要がある。また、同窓会の主催で開催する在校生支援行事（卒業生と就職を語る会）を含めた、これら企業の方々にご協力いただき開催する一連の行事を「中部大学就職フェア」として統一し、全学年の学生に対し自分自身の将来

や職業について考えるための重要な行事として浸透させることに取り組んでいきたい。
また、学生に対するPRについてはホームページを有効に活用して行っていく。

平成 1 1 年度の就職スケジュール

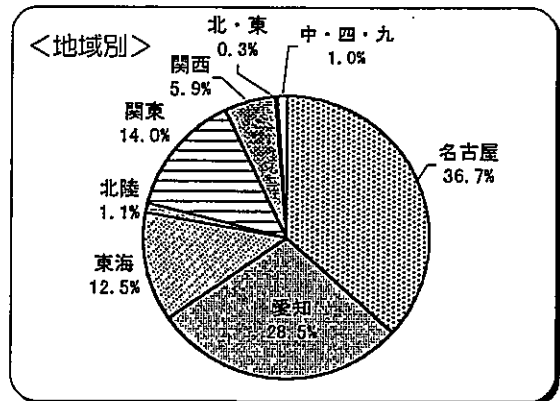
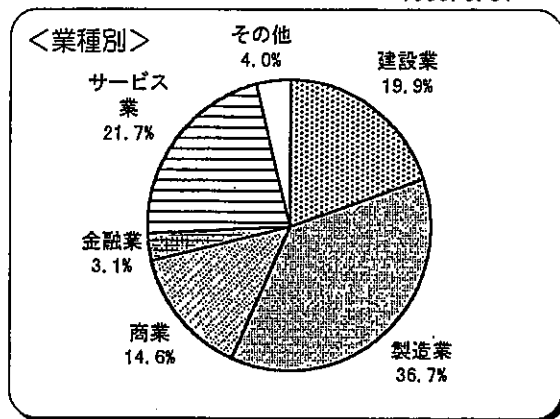
中 部 大 学

3月 下旬	学内企業説明会（1・2回目）
4月 上旬 中旬 下旬	各学科の就職主任と個別の打合せ 卒業生と就職を語る会 学科別の就職ガイダンス 資格取得に関するガイダンス 就職マナー講座（計3回実施） 警視庁の説明会 学内企業説明会（3回目） 4年生父母対象の就職説明・懇談会 国税専門官・愛知県警・自衛隊説明会
5月 中旬	就職連絡委員会（各学科の就職主任と） 就職委員会（ホテルで年1回） 学内企業説明会（4回目）
6月 下旬	公務員ガイダンス 学内企業説明会（5回目）
7月 上旬	㈱リクルートによる就職ガイダンス（3年生対象）
8月	
9月 中旬 下旬	㈱リクルートによる3年生対象のガイダンス
10月 上旬 下旬	3年生対象・学科別就職ガイダンス SPI。就職適性・クレペリン各検査試験実施
11月 上旬 下旬	就職連絡委員会（各学科の就職主任と／2回目） 会社学シンポジウム 於）椋山女学園大学 クレペリン説明会 就職体験報告会（文系）
12月 上旬 中旬 下旬	3年生個人面談開始 旅行航空業界セミナー 業界徹底研究会① 業界徹底研究会②
1月 中旬	就職体験報告会（工系） 卒業生と就職を語る会
2月	
3月	SPI対策講座 就職マナー講座 学内企業説明会（2回）

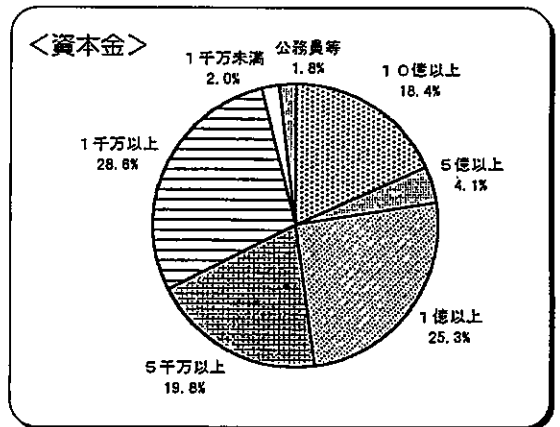
平成10年度 就職状況表 (大学院を含む)

1999. 3. 31

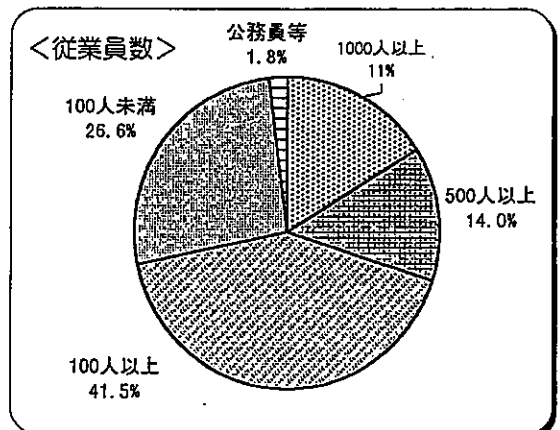
		平成10年度	平成9年度
業 種 別	建設業		
	建築測量設計	49	48
	土木建設	149	197
	設備工事	76	66
	製造業		
	食品・繊維・化学他	87	90
	鉄鋼・非鉄・金属	36	23
	機械・輸送機・精密	243	221
	電気電子機器	86	108
	出版・パルプ・その他	55	55
	商業		
	流通・外食産業	44	39
	食品・薬品・繊維販売	46	47
	機械・電機販売	49	46
	金属・木材販売	15	18
	ディーラー・その他	47	44
	金融		
	銀行	4	2
	証券・商品取引	8	6
生命損害保険	7	3	
信金・信組・その他	24	21	
不動産業	8	14	
サービス			
情報処理・機電設計	172	122	
その他サービス業	128	155	
	運輸・通信業	19	31
	農林水産鉱業	2	0
	電力ガス水道業	1	0
	公務員	25	40
	合 計	1,380	1,396



		平成10年度	平成9年度
地 域 別	名古屋	507	488
	愛知	393	371
	東海	173	212
	北陸	15	14
	関東・甲信越	193	210
	関西	81	82
	北海道・東北	4	0
	中国四国九州沖縄外国	14	19
	合 計	1,380	1,396



		平成10年度	平成9年度
資 本 金	10億以上	254	327
	5億～10億未満	57	69
	1億～5億未満	349	363
	5千万～1億未満	273	260
	1千万～5千万未満	394	322
	1千万未満	28	15
	合 計	1,380	1,396



		平成10年度	平成9年度
従 業 員	1,000人以上	222	292
	500人～999人	193	205
	100人～499人	573	587
	100人未満	367	272
	合 計	1,380	1,396

